

次世代エネルギーの普及に貢献するソリューションを紹介

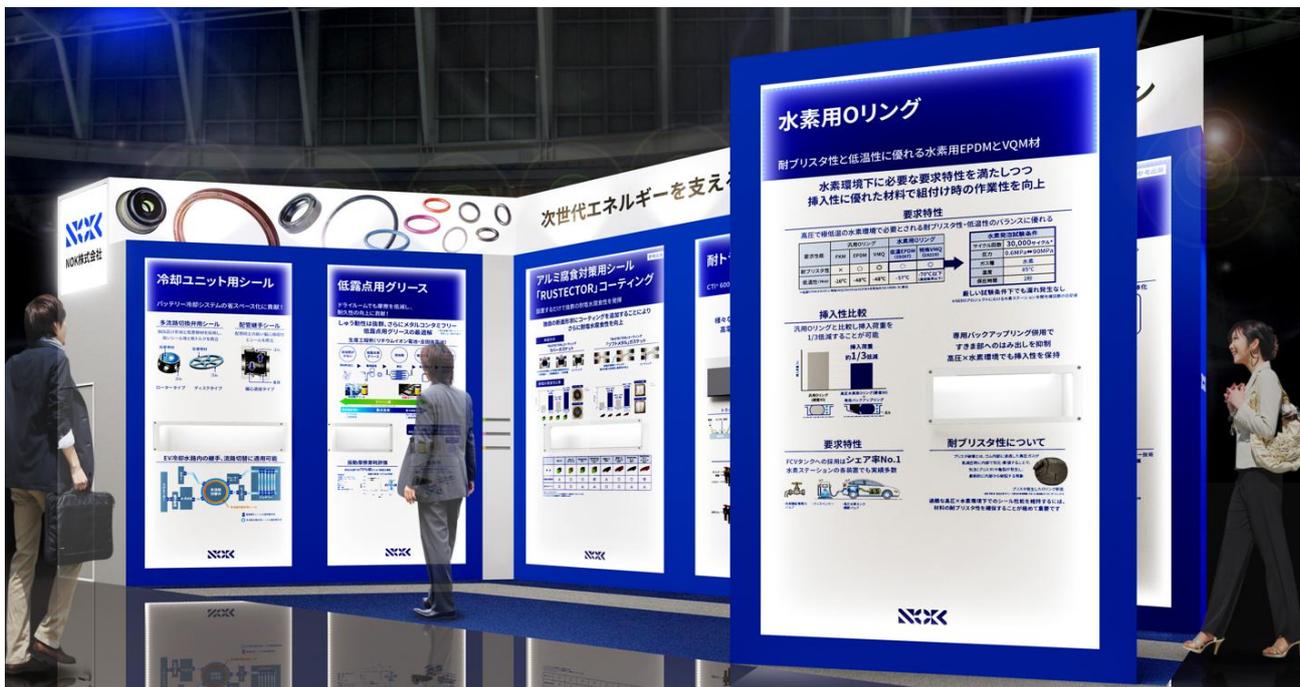
# NOK、「BATTERY JAPAN [国際] 二次電池展」に出展

バッテリー製造工程の超乾燥環境に対応する低露点用グリースも初出展

NOK株式会社（本社：東京都港区芝大門、代表取締役 社長執行役員 グループ CEO：鶴 正雄、以下「NOK」）は、2026年3月17日（火）から19日（木）まで東京ビッグサイト（東京都江東区有明）で開催される「BATTERY JAPAN [国際] 二次電池展」に出展します。

会期中は、バッテリー製造工程の超乾燥環境に対応する低露点用グリースに加え、水素用 Oリング、水電解ガスケットの3製品を初めて展示します。

「Essential Core Manufacturing—社会に不可欠な中心領域を担うモノづくり」を掲げる NOK グループは、「次世代エネルギーを支える、NOK のシーリングソリューション」をテーマに、EV 関連および水素分野向け製品を紹介します。



NOK グループブース イメージ

リリースに関するお問い合わせ

NOK株式会社 CEO オフィス コーポレートアフェアーズ コーポレートコミュニケーション部

TEL:03 - 5405 - 6372 Mail: mb\_nok\_corporate\_affairs@jp.nokgrp.com

## ■ 低露点用グリース ※新規開発品／初展示

リチウムイオン電池および全固体電池の製造工程（露点 $-50^{\circ}\text{C}$ ～ $-70^{\circ}\text{C}$ ）の超乾燥環境に対応する新開発の製品です。超乾燥環境下で課題となっていた駆動部（軸受やボールねじ等）の摩擦抵抗増大を抑制します。これにより、装置部品の摩耗を防止して長寿命化を実現するだけでなく、装置の安定稼働を通じた生産性の向上に寄与します。また、電池特性に影響を与える特定の金属元素(Cu、Zn、Fe)を原料材に含まないため、金属元素に起因する電池特性の不良リスクを低減します。



## ■ 水素用Oリング ※初展示

水素環境下では、高圧でゴム内部に浸入した水素が減圧時に急膨張し、ゴム内部に気泡やふくれ（ブリスタ）を生じます。Oリングの密封性を保つためには、この現象を防ぐ「耐ブリスタ性」が重要です。本製品は、耐ブリスタ性と低温特性に優れた低温 EPDM 材と特殊 VMQ 材のOリングです。高圧環境下では溝の隙間からはみ出し対策として、専用バックアップリングを併用することで使用できます。また、汎用的な高圧用Oリングより材料硬度が低く、挿入荷重を 1/3 に低減でき、組み付け時の作業性が向上します。



低温 EPDM 材は汎用 EPDM 材と比較して優れた低温特性を有し、特殊 VMQ 材は低温 EPDM 材と比較して、さらに優れた低温特性および耐ブリスタ性を有します。使用条件に応じて、低温 EPDM 材と特殊 VMQ 材のいずれかを提案することができます。高圧環境における使用温度の目安は、低温 EPDM 材が $-50^{\circ}\text{C}$ 、特殊 VMQ 材が $-60^{\circ}\text{C}$ です。

## ■ 水電解ガスケット ※初展示

水電解装置の電極間において、気密性・絶縁性・電解液保持を担う重要部品です。ガス混合や漏れ、短絡を防ぐことで水素製造効率と装置の安定運転に貢献します。樹脂フレーム一体型のシール構造により、膜交換が容易となるだけでなく、自動組付け作業の効率化や部品点数削減にも寄与します。さらにゴムシールの採用により、高圧環境下で漏れを抑制および従来の樹脂品に対して長寿命化を実現します。国立研究開発法人産業技術総合研究所（AIST）福島再生可能エネルギー研究所（FREA）との共同研究により材料・形状の最適化も進めており、水電解装置の効率的なエネルギー変換を支援します。



## ■ 冷却システム用シールソリューション（多流路切換弁用シール/配管継手用シール）

多流路切換弁用シールは、ゴムと低摩擦材を組み合わせ、独自の形状で設計しています。高いシール性と低トルクを両立し、円滑に流路の切り替えを実現します。周辺部品を削減し、限られた熱エネルギーを効率的に活用できます。ロータータイプとディスクタイプの2種類を紹介いたします。



配管継手用シールは、配管の位置ずれに柔軟に追随し、確実に密封するための継手用シールです。独自の構造と、ゴムと金属環の一体成形により、配管に圧入するだけで取り付けが可能です。複雑な冷却流路や樹脂構造体の採用など、多管化する配管ユニットの組立ばらつきによる位置ずれにも対応し、省スペース化と設計自由度の向上に寄与します。



## ■ 耐トラッキング性ゴム

独自開発配合により、高電圧環境下でのトラッキング現象を抑制するゴム材料です。JIS 規格における最高値である CTI※（比較トラッキング指数）600 を満たしています。シール機能を付加した形状部品として加工することで、インバータやモーター周辺の省スペース化、部品点数の削減に貢献します。さらに、適用箇所に合わせて、耐水性や耐油性を有するゴムをベース材料として選定することも可能です。



※CTI は、絶縁物のトラッキングに対する耐久性を表す指数で、数値が大きいほどトラッキングが起きにくいものであることを示します。

## ■ アルミ腐食対策用シール「RUSTECTOR」コーティング

EV のユニットをはじめとしたアルミ筐体向けに耐塩水腐食機能を付加したガスケットです。コーティングの追加により、アルミハウジングの表面粗さを充填し、耐腐食性を向上させます。ラバーガスケットと、鋼板にゴムを接着した「ソフトメタル」ガスケットの2種類を提案します。



### <NOKグループ出展概要>

- ・テーマ：「次世代エネルギーを支える、NOKのシーリングソリューション」
- ・ブース小間番号：S8-1（東京ビッグサイト 南展示場第1ホール1階）
- ・展示会サイト：[https://products.nokgrp.com/expo\\_btj2026.html](https://products.nokgrp.com/expo_btj2026.html)

### <BATTERY JAPAN [国際] 二次電池展 開催概要 >

- ・主催：RX Japan 株式会社
- ・会期：2026年3月17日（火）～19日（木）10:00～17:00
- ・会場：東京ビッグサイト 南展示場第1ホール1階（東京都江東区有明3-11-1）  
りんかい線「国際展示場駅」より徒歩約7分、ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」より徒歩約3分
- ・URL：<https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/bj.html>

## ■ NOK株式会社について

NOKグループは「Essential Core Manufacturing — 社会に不可欠な中心領域を担うモノづくり」を掲げ、豊かな社会の根幹となる「安全」と「快適」を支えています。15の国と地域に所在する約38,000人で、積み重ねた基礎研究に基づく製品開発、高品質での大量・安定生産を実現しています。自動車をはじめとするモビリティ、PC やスマートフォンに代表される電子機器、OA 機器、医療・ヘルスケア機器、産業用ロボット、そして人工衛星など、あらゆる産業分野に技術・製品を提供し続けます。